

平成30年度 ニシン漁獲物調査速報(11)

水産試験場が実施しているニシン漁獲物調査において得られた情報について、随時お知らせしています。

3月11日に厚田地区における漁獲物の測定調査を実施しましたので結果を報告します。石狩湾漁業協同組合厚田本所の皆様、ご協力ありがとうございました。

【結果】

1. 漁獲(表1)

石狩地区では3/10をもって終漁となりました。厚田地区では3月頭にまとまった漁獲があった後、これまでよりも魚体が小ぶりな大中銘柄が徐々に増えつつあるようです。

2. 年齢別尾叉長組成(図1)

3月に入り尾叉長30cm以上の5年魚の大半は沖へ離れ、来遊の中心は25-30cmの4年魚と3年魚が中心となってきました。大中銘柄の60%以上が体重200-220gの3年魚となっています。

3年魚は来年度の漁獲の中心を担う資源であるとともに、3年魚が産んだ卵からの生き残りが夏季の稚魚調査で多くみられる傾向があります。したがって、今後さらにこれら大中サイズの漁獲が増えてくると、来期への取り残しや次世代資源の確保のため、今後の操業方針について考える必要があると考えます。

2年魚については今回までの漁獲物に確認されておりませんが、今後、さらに小型の仕分け銘柄が増えてくると2年魚交じりの可能性があります。

表1 銘柄別ニシン漁獲・測定結果

銘柄	雄大	雄大中	雌バラ8kg	合計
漁獲重量(kg)	荷受け中のため未集計			
漁獲尾数	荷受け中のため未集計			
測定尾数	20	29	32	81
測定尾数(精密)	20	29	32	81
平均尾叉長(mm)	293	278	286	285
平均体重(g)	267	220	258	247
3年魚の割合	0.00	0.62	0.34	0.36
完熟率*	1.00	1.00	1.00	1.00

*メス全体のうち産卵直前の卵を持つメスの比率

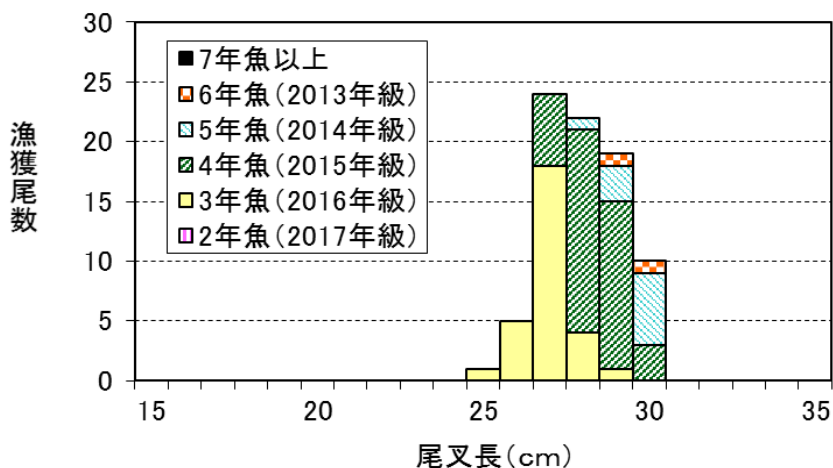


図1 2019年3月11日厚田地区 年齢別尾叉長組成